

	ケア場面での気づきと助言-1	
--	----------------	--

担当講師名

ホッとスペース中原

代表 佐々木 炎

研修領域	実施期日	会 場
ケア領域	令和 7 年 11 月 8 日 (土)	沖縄県総合福祉センター西棟 4 階本会事務局 (zoom ミーティング実施)

到達目標

- ① 誰でもない、かけがえのない利用者への全人的理解を図ることによってその人自身の尊厳ある暮らしが実現できるように取り組むことができる。
- ② 利用者主体性（主人公）の介護をするために必要な技術と知識と人間理解を身に着けることができる。
- ③ 自分のケアを振り返り、それを客観視し、常に改善・工夫することで、利用者の福祉につながる視点を習得することができる。

修了時の評価ポイント

- ① 利用者の尊厳を理解した人間観、介護観を身につけ説明できる。
- ② 個別性の大切さを説明でき、具体的な支援方法を身につけることができる。
- ③ 利用者のニーズに気づき、その背景や根拠を説明できる。

テキスト・使用教材等

<著書>

- ・『ICF を取り入れた介護過程の展開』 (黒澤 貞夫 編著 建帛社)
- ・『ケアの本質』 (ミルトン・メイヤーロフ/田村 真・向野宣之 訳 ゆみる出版)
- ・『人間の発見と形成』 (リッチモンド 誠信書房)
- ・『基礎から学ぶ 気づきの事例検討会』 (渡部 律子 著 中央法規出版)
- ・『福祉・介護におけるスピリチュアルケア』 (深谷 美枝・柴田 実 共著 中央法規出版)
- ・『認知症のパーソンセンタードケア』 (トム・キットウッド 著 簡井書房)
- ・『新・介護福祉士養成講座』 (中央法規出版)
- ・『人は命だけでは生きられない』 (フォレストブックス, 佐々木 炎 著)

<視聴覚>

- ・『ホームヘルパーの役割と可能性』 (中央法規出版)
- ・『おいぬ様でいよう』 (演劇ビデオ)
- ・『現場の映像』
- ・その他のビデオ

自職場等課題

【事前課題のねらい】

「介護過程の展開」は『ケア場面での気づきと助言』の大切な基礎知識となります。事前に「介護過程の展開」を学び受講を深めていきます。

【事前課題の内容】

受講生が勤務する自職場や居宅で生活する利用者（患者）の事例をあげて、その利用者（患者）の生活の全体像を 5 行程度で記述してください（約 200 文字程度）。そのさいにアセスメント表 1-1・アセスメント表 1-2・ICF（国際生活機能分類）整理シートを作成するとともに、ICF（国際生活機能分類）の構成要素間の相互作用を踏まえて生活の全体像との関連について 1,200 文字程度でまとめてください（本会指定「事前課題提出用紙（PDF データ）」を使用する）。

* 予め利用者（患者）より同意を取り付けておくとともに個人情報特定されないよう留意してください。

* 介護福祉士基本研修で学んだ「介護過程の展開」を再度復習してから事前課題に取り組んで下さい。

<参考テキスト>

介護福祉士基本研修テキスト（編集公益社団法人日本介護福祉士会、発行所中央法規出版株式会社）

生活 7 領域から考える自立支援アセスメント・ケアプラン作成マニュアル（編集公益社団法人日本介護福祉士会、発行所中央法規出版株式会社）

【事後課題の内容】 ケア場面での気づきと助言—2 参照

	ケア場面での気づきと助言-2	
--	----------------	--

担当講師名

ホッとスペース中原

代表 佐々木 炎

研修領域	実施期日	会 場
ケア領域	令和 7 年 11 月 22 日(土)	沖縄県総合福祉センター西棟 4 階本会事務局 (zoom ミーティング実施)

到達目標

- ① 誰でもない、かけがえのない利用者への全人的理解を図ることによってその人自身の尊厳ある暮らしが実現できるように取り組むことができる。
- ② 利用者主体性（主人公）の介護をするために必要な技術と知識と人間理解を身に着けることができる。
- ③ 自分のケアを振り返り、それを客観視し、常に改善・工夫することで、利用者の福祉につながる視点を習得することができる。

修了時の評価ポイント

- ① 利用者の尊厳を理解した人間観、介護観を身につけ説明できる。
- ② 個別性の大切さを説明でき、具体的な支援方法を身につけることができる。
- ③ 利用者のニーズに気づき、その背景や根拠を説明できる。

テキスト・使用教材等

<著書>

- ・『ICF を取り入れた介護過程の展開』（黒澤 貞夫 編著 建帛社）
- ・『ケアの本質』（ミルトン・メイヤーロフ/田村 真・向野宣之 訳 ゆみる出版）
- ・『人間の発見と形成』（リッチモンド 誠信書房）
- ・『基礎から学ぶ 気づきの事例検討会』（渡部 律子 著 中央法規出版）
- ・『福祉・介護におけるスピリチュアルケア』（深谷 美枝・柴田 実 共著 中央法規出版）
- ・『認知症のパーソンセンタードケア』（トム・キットウッド 著 簡井書房）
- ・『新・介護福祉士養成講座 介護の基本ⅠⅡ、生活支援技術』（中央法規出版）
- ・『新しい介護』（太田 仁史・三好 春樹 著 講談社）
- ・テキスト『ICF の理解と活用』（上田敏 著 きょうされん）

<視聴覚>

- ・『現場の映像』
- ・その他のビデオ

自職場等課題

【事前課題の内容】

ケア場面での気づきと助言—1 参照

【事後課題の内容】

研修の成果をふまえて、事前課題で作成したアセスメント表 1-1・アセスメント表 1-2・ICF（国際生活機能分類）整理シートを再度修正して下さい（字体や色を変える等修正した箇所が分かるようにして下さい）。その後所属する事業所において、『ケアの改善の必要性に気づき』実践したことを 2000 字程度でレポートして下さい。その際、何に気づいたのか、その改善の根拠、どのような形で計画し進めたのか、その成果など「介護過程の展開」に沿ってレポートして下さい。

* 介護過程が展開されていない内容については、再提出を求める場合があります。

* 令和 8 年 1 月 31 日（土）受講科目「観察・記録の的確性とチームケアへの展開」で事後課題を使用します。